

観音寺市国民健康保険 第3期特定健康診査等実施計画

平成30年(2018年)3月
観音寺市

第1章	計画策定にあたって	
	1. 計画策定の趣旨	1
	2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ	1
	3. 計画期間	2
第2章	現状と課題把握	
	1. 保険者の特性把握	3
	(1) 基本情報	3
	(2) 医療費等の状況	5
	(3) 介護保険の状況	6
	(4) 主たる死因の状況	9
	2. 医療情報分析結果	10
	(1) 基礎統計	10
	(2) 疾病別医療費	11
	①大分類による疾病別医療費統計	11
	②中分類による疾病別医療費統計	12
	3. 生活習慣病に係る医療費	15
第3章	特定健康診査の実施状況	
	1. 特定健康診査の受診率	16
	2. 特定健康診査結果の分析	18
	(1) 有所見者割合	18
	(2) 質問別回答状況	20
	(3) 特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	22
	3. 特定健康診査に係る主な取り組み	23
	4. 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策	24
第4章	特定保健指導の実施状況	
	1. 特定保健指導の実施率	25
	2. 特定保健指導の効果分析	28
	3. 特定保健指導対象者の分析	29
	(1) 保健指導レベル該当状況	29
	(2) 特定保健指導リスク因子別該当状況	32
	4. 特定保健指導に係る主な取り組み	33
	5. 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策	34
第5章	特定健康診査等実施計画	
	1. 目標	35
	2. 対象者数推計	35
	(1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み	35
	(2) 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み	36
	3. 実施方法	37
	(1) 特定健康診査の実施方法	37
	①対象者	37
	②実施要領	37

	(2) 特定保健指導の実施方法	38
	① 対象者の特定	38
	② 実施の要領	38
	4. 実施スケジュール	39
第6章	その他	
	1. 個人情報の保護	40
	(1) 個人情報保護関係規定の遵守	40
	(2) データの管理	40
	2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知	40
	3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	40
	(1) 評価	40
	(2) 計画の見直し	40
	4. 事業運営上の留意事項	40
	(1) 各種検(健)診等との連携	40
	(2) 健康づくり事業との連携	40

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年(1982年)法律第80号。以下「法」という。)に基づき、被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされた。

観音寺市国民健康保険においても、第1期特定健康診査等実施計画、第2期特定健康診査等実施計画を策定し、特定健康診査及び特定保健指導を推進してきたが目標値には到達していない。引き続き、平成30年度(2018年度)を初年度とする第3期特定健康診査等実施計画を策定し、積極的に生活習慣病有病者、予備群の減少を図る。

2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

本特定健康診査等実施計画の遂行にあたっては、関連計画である「観音寺市国民健康保険第2期データヘルス計画」との整合性を図ると共に、「観音寺市健康増進計画及び食育推進計画」等とも整合性を図る必要性がある。

3. 計画期間

第1期特定健康診査等実施計画及び第2期特定健康診査等実施計画は5年を一期としていたが、「観音寺市国民健康保険第2期データヘルス計画」が6年を一期に見直されたことを踏まえ、第3期特定健康診査等実施計画からは6年を一期として策定する(特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)より)。なお、計画期間は平成30年度(2018年度)から平成35年度(2023年度)とする。

■ 計画期間

平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)
					

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度(2014年度)～平成28年度(2016年度)(3年分)
- ・ 入院、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成26年度(2014年度)…平成26年(2014年)4月～平成27年(2015年)3月診療分(12カ月分)
平成27年度(2015年度)…平成27年(2015年)4月～平成28年(2016年)3月診療分(12カ月分)
平成28年度(2016年度)…平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成25年度(2013年度)…平成25年(2013年)4月～平成26年(2014年)3月健診分(12カ月分)
平成26年度(2014年度)…平成26年(2014年)4月～平成27年(2015年)3月健診分(12カ月分)
平成27年度(2015年度)…平成27年(2015年)4月～平成28年(2016年)3月健診分(12カ月分)
平成28年度(2016年度)…平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本市の平成28年度(2016年度)における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は28.1%であり、県との比較で1.1倍、同規模との比較で1.2倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は14,462人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は23.3%である。国民健康保険被保険者平均年齢は54.6歳である。

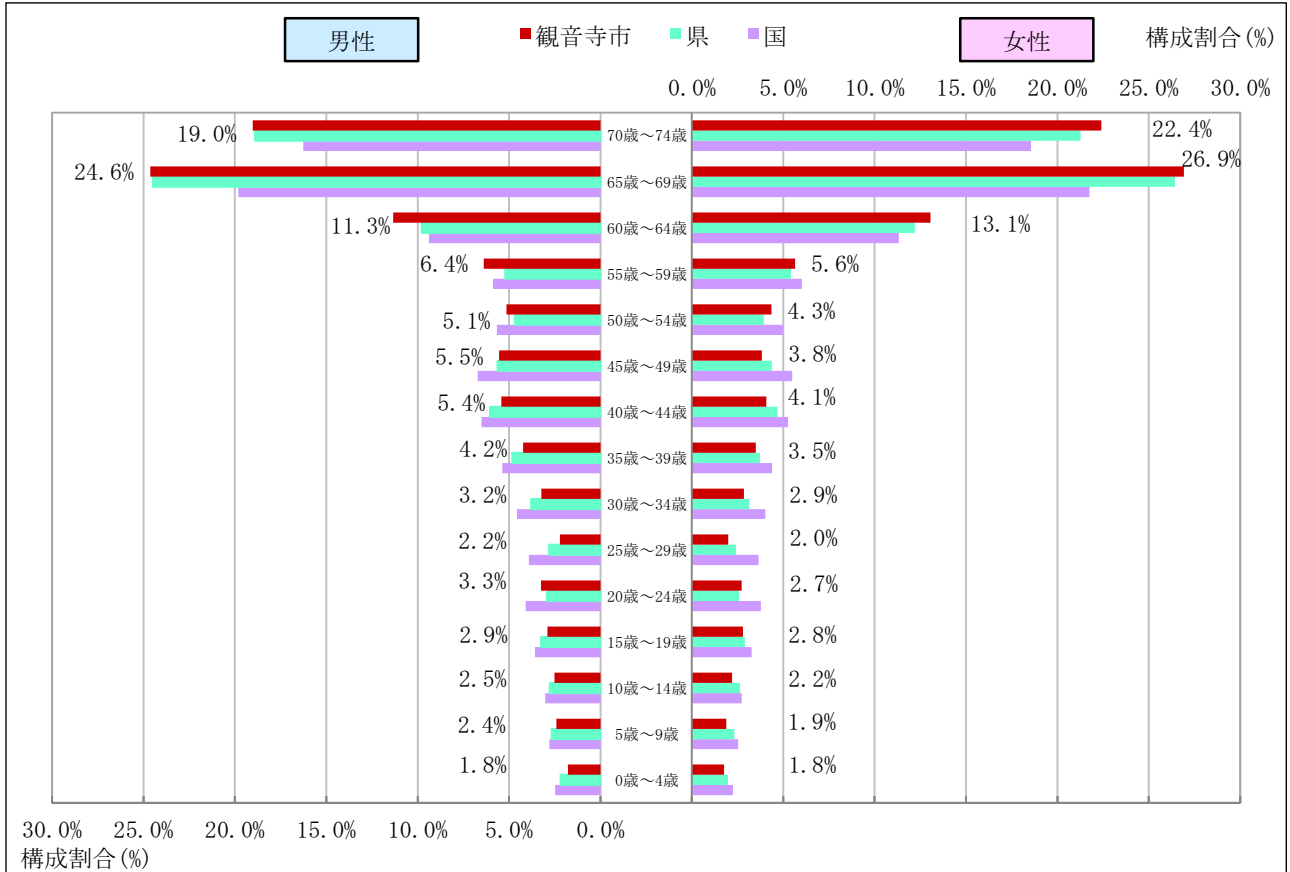
人口構成概要 平成28年度(2016年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
観音寺市	62,059	28.1%	14,462	23.3%	54.6	7.9%	12.9%
県	971,152	26.0%	234,776	24.2%	53.4	8.6%	11.4%
同規模	68,973	24.1%	16,980	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は香川県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド 平成28年度(2016年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示す。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位：人

年齢階層	平成26年度 (2014年度)			平成27年度 (2015年度)			平成28年度 (2016年度)		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
0歳～4歳	344	189	155	291	156	135	256	128	128
5歳～9歳	349	183	166	359	184	175	311	174	137
10歳～14歳	461	255	206	392	207	185	341	181	160
15歳～19歳	545	276	269	484	247	237	412	209	203
20歳～24歳	465	241	224	450	232	218	433	235	198
25歳～29歳	416	219	197	354	193	161	304	160	144
30歳～34歳	555	282	273	505	256	249	440	233	207
35歳～39歳	695	369	326	637	338	299	559	305	254
40歳～44歳	753	455	298	724	428	296	686	391	295
45歳～49歳	701	395	306	685	384	301	677	400	277
50歳～54歳	760	409	351	741	409	332	686	371	315
55歳～59歳	1,075	539	536	942	484	458	869	460	409
60歳～64歳	2,158	1,004	1,154	1,961	898	1,063	1,764	818	946
65歳～69歳	3,528	1,705	1,823	3,766	1,835	1,931	3,728	1,777	1,951
70歳～74歳	3,127	1,419	1,708	2,979	1,336	1,643	2,996	1,372	1,624
合計	15,932	7,940	7,992	15,270	7,587	7,683	14,462	7,214	7,248

出典：国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

本市の平成28年度(2016年度)における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報 平成28年度(2016年度)

医療項目	観音寺市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.4	0.4	0.3	0.3
診療所数	3.2	3.5	2.8	3.0
病床数	89.6	64.3	50.3	46.8
医師数	12.5	11.8	7.5	9.2
外来患者数	754.9	729.6	688.2	668.1
入院患者数	26.0	24.1	19.8	18.2
受診率	780.9	753.6	708.0	686.3
一件当たり医療費(円)	40,670	39,330	36,130	35,330
一般(円)	40,630	39,330	36,080	35,270
退職(円)	41,580	39,060	37,660	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	58.0%	57.9%	59.3%	60.1%
外来受診率	754.9	729.6	688.2	668.1
一件当たり医療費(円)	24,400	23,540	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	18,420	17,170	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	13,080	13,820	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.9	1.7	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	42.0%	42.1%	40.7%	39.9%
入院率	26.0	24.1	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	513,630	518,220	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	13,340	12,460	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	28,210	30,310	32,470	34,030
一件当たり在院日数	18.2	17.1	16.2	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 介護保険の状況

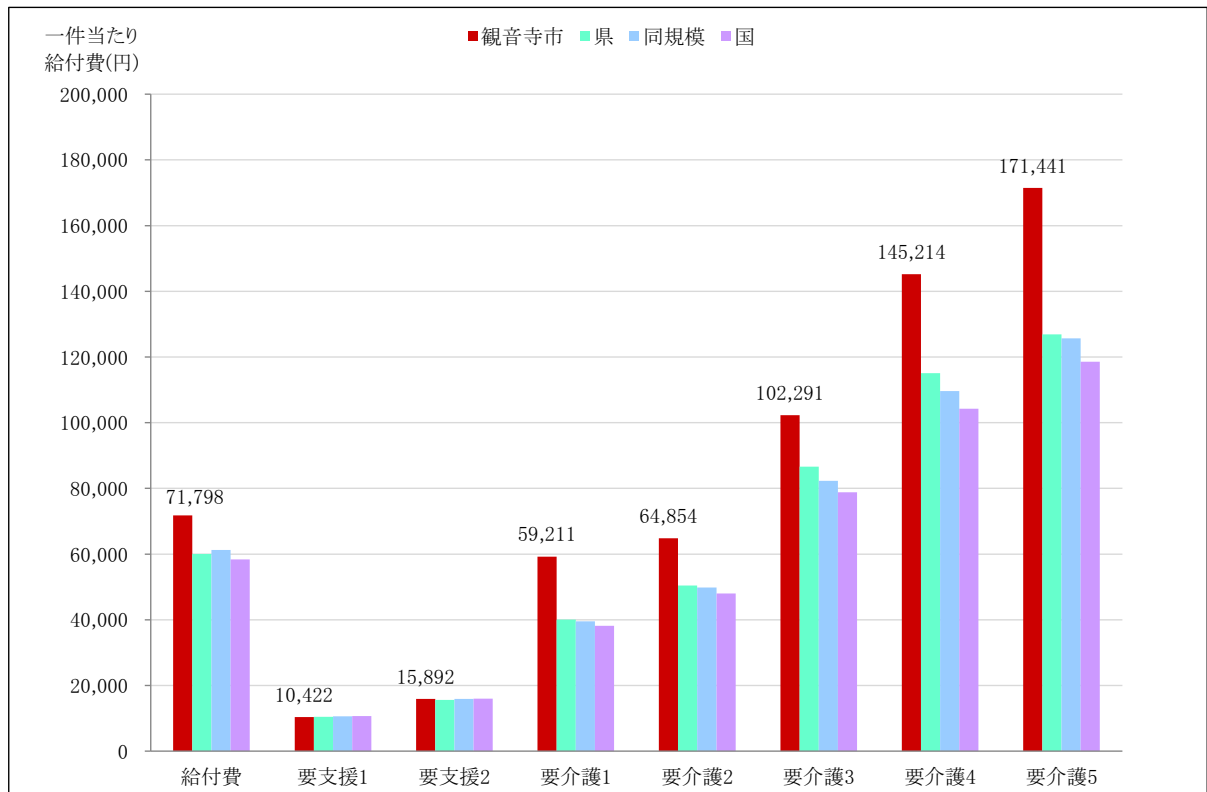
本市の平成28年度(2016年度)における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況 平成28年度(2016年度)

区分	観音寺市	県	同規模	国
認定率	17.7%	22.6%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	3,172	58,560	913,855	6,037,083
第1号(65歳以上)	3,108	57,382	891,869	5,885,270
第2号(40～64歳)	64	1,178	21,986	151,813
一件当たり給付費(円)				
給付費	71,798	60,076	61,245	58,284
要支援1	10,422	10,461	10,581	10,735
要支援2	15,892	15,579	15,951	15,996
要介護1	59,211	40,082	39,503	38,163
要介護2	64,854	50,427	49,853	48,013
要介護3	102,291	86,635	82,314	78,693
要介護4	145,214	115,065	109,614	104,104
要介護5	171,441	126,879	125,728	118,361

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費 平成28年度(2016年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

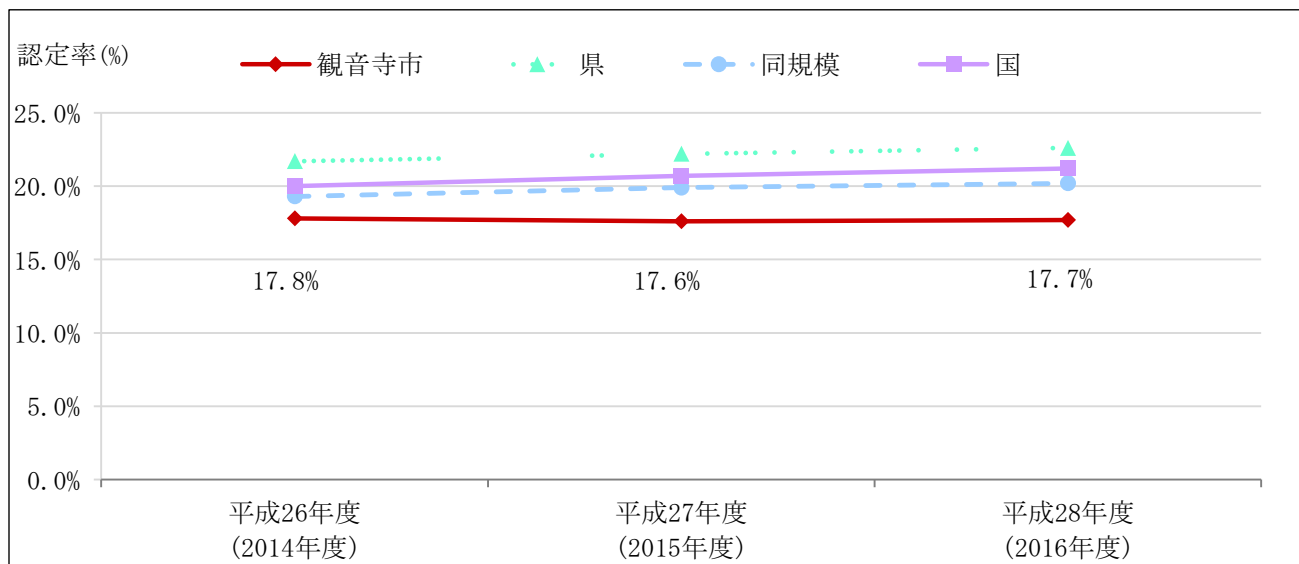
平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度(2016年度)認定率17.7%は平成26年度(2014年度)17.8%より0.1ポイント低下しており、平成28年度(2016年度)の認定者数3,172人は平成26年度(2014年度)3,151人より21人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
観音寺市	平成26年度(2014年度)	17.8%	3,151	3,082	69
	平成27年度(2015年度)	17.6%	3,134	3,074	60
	平成28年度(2016年度)	17.7%	3,172	3,108	64
県	平成26年度(2014年度)	21.7%	56,578	55,329	1,249
	平成27年度(2015年度)	22.2%	57,790	56,565	1,225
	平成28年度(2016年度)	22.6%	58,560	57,382	1,178
同規模	平成26年度(2014年度)	19.3%	883,689	860,333	23,356
	平成27年度(2015年度)	19.9%	908,391	885,519	22,872
	平成28年度(2016年度)	20.2%	913,855	891,869	21,986
国	平成26年度(2014年度)	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度(2015年度)	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度(2016年度)	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度(2016年度)の認定者が有している平均疾病数3.2疾病は平成26年度(2014年度)3.1疾病より増加している。

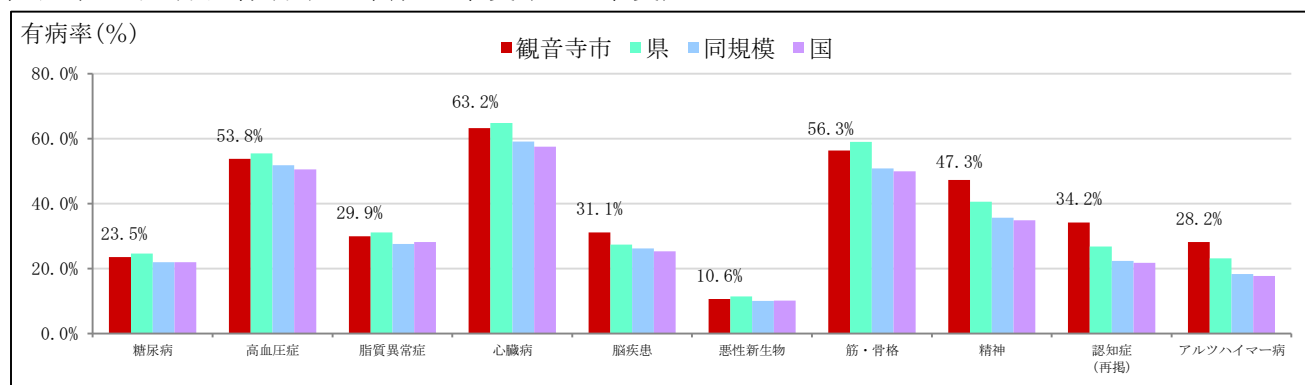
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

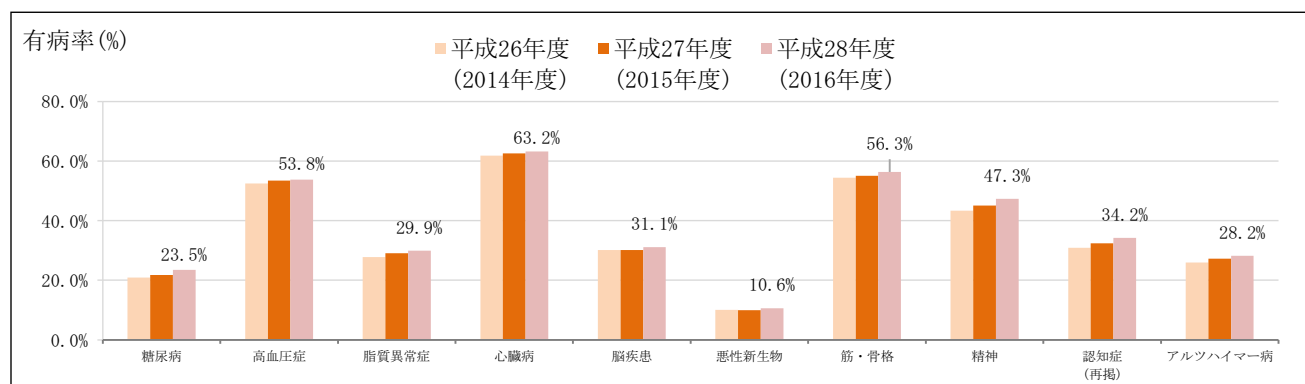
区分	観音寺市			県			同規模			国						
	平成26年度 (2014年度)	順位	平成27年度 (2015年度)	順位	平成28年度 (2016年度)	順位	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)				
認定者数(人)	3,151		3,134		3,172		56,578	57,790	58,560	883,689	908,391	913,701	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	有病率(%)	20.9%	8	21.8%	8	23.5%	8	23.4%	24.1%	24.6%	19.7%	21.5%	22.0%	20.3%	21.4%	22.1%
高血圧症	有病率(%)	52.5%	3	53.4%	3	53.8%	3	54.6%	55.1%	55.5%	47.3%	50.9%	51.8%	47.9%	49.7%	50.9%
脂質異常症	有病率(%)	27.8%	6	29.1%	6	29.9%	6	29.1%	30.4%	31.1%	24.5%	26.8%	27.6%	25.7%	27.3%	28.4%
心臓病	有病率(%)	61.8%	1	62.6%	1	63.2%	1	64.1%	64.6%	64.8%	54.3%	58.2%	59.2%	54.8%	56.7%	58.0%
脳疾患	有病率(%)	30.1%	5	30.1%	5	31.1%	5	28.2%	27.8%	27.4%	25.0%	26.2%	26.2%	25.2%	25.4%	25.5%
悪性新生物	有病率(%)	10.1%	9	10.0%	9	10.6%	9	10.8%	11.2%	11.4%	8.8%	9.7%	10.0%	9.2%	9.8%	10.3%
筋・骨格	有病率(%)	54.4%	2	55.0%	2	56.3%	2	58.2%	58.8%	59.0%	46.3%	49.8%	50.8%	47.1%	48.9%	50.3%
精神	有病率(%)	43.3%	4	45.1%	4	47.3%	4	39.0%	40.0%	40.7%	31.6%	34.4%	35.6%	32.2%	33.8%	35.2%
認知症(再掲)	有病率(%)	30.9%	—	32.4%	—	34.2%	—	25.0%	26.1%	26.8%	19.2%	21.2%	22.3%	19.4%	20.7%	21.7%
アルツハイマー病	有病率(%)	25.9%	7	27.2%	7	28.2%	7	21.5%	22.6%	23.1%	15.6%	17.5%	18.3%	15.7%	16.9%	17.7%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率 平成28年度(2016年度)



年度別 認定者の疾病別有病率



(4) 主たる死因の状況

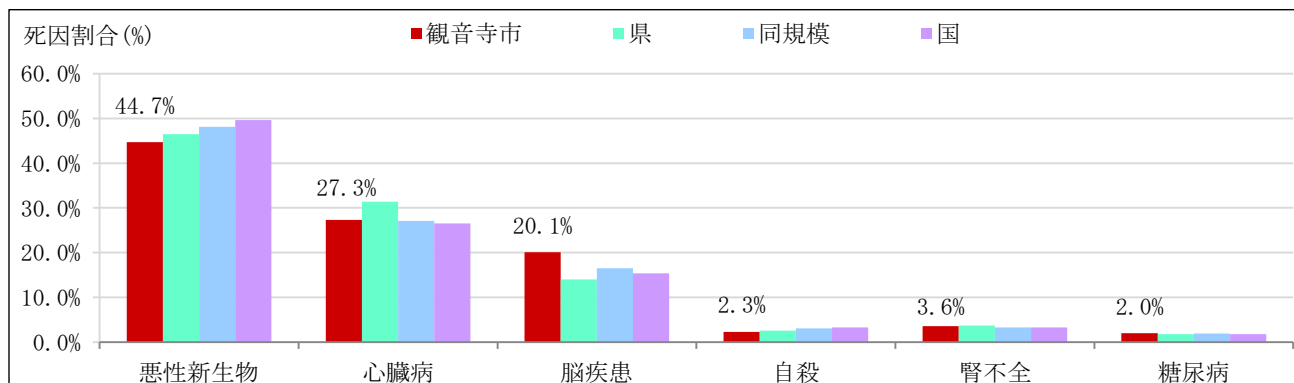
本市の平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度(2016年度)を平成26年度(2014年度)と比較すると、悪性新生物を死因とする人数198人は平成26年度(2014年度)186人より12人増加しており、心臓病を死因とする人数121人は平成26年度(2014年度)135人より14人減少している。また、脳疾患を死因とする人数89人は平成26年度(2014年度)74人より15人増加している。

年度別 主たる死因の状況

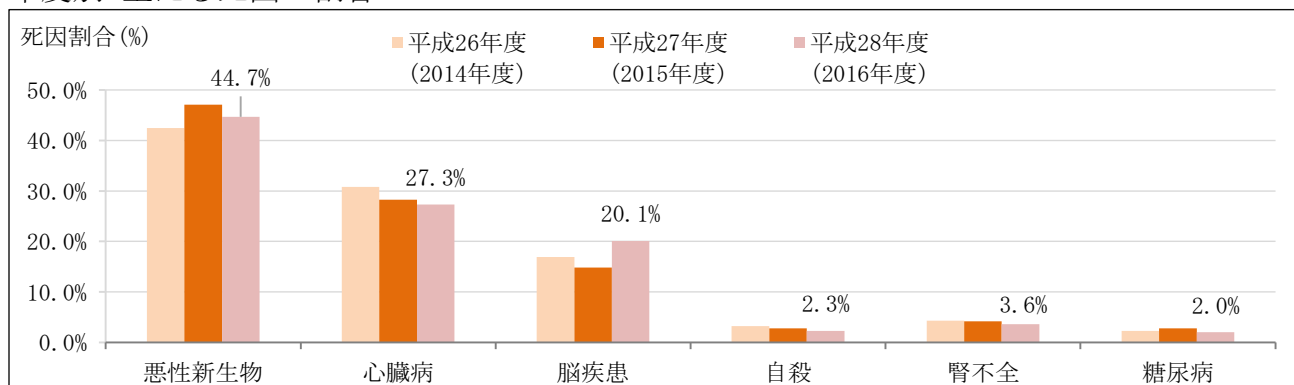
疾病項目	観音寺市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)									
悪性新生物	186	203	198	42.5%	47.1%	44.7%	45.8%	46.3%	46.5%	46.7%	47.5%	48.1%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	135	122	121	30.8%	28.3%	27.3%	31.4%	29.5%	31.4%	27.2%	27.1%	27.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	74	64	89	16.9%	14.8%	20.1%	14.3%	15.0%	14.0%	17.2%	16.7%	16.5%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	14	12	10	3.2%	2.8%	2.3%	2.6%	2.8%	2.6%	3.4%	3.4%	3.1%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	19	18	16	4.3%	4.2%	3.6%	3.6%	3.8%	3.7%	3.5%	3.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	10	12	9	2.3%	2.8%	2.0%	2.2%	2.6%	1.8%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	438	431	443												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合 平成28年度(2016年度)



年度別 主たる死因の割合



2. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)における、入院、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度(2016年度)を平成26年度(2014年度)と比較すると、一カ月平均の被保険者数14,848人は、平成26年度(2014年度)15,982人より1,134人減少しており、医療費56億8,686万円は平成26年度(2014年度)59億9,536万円より3億850万円減少している。また、一カ月平均の患者数8,127人は、平成26年度(2014年度)8,628人より501人減少している。

年度別 基礎統計

		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	15,982	15,611	14,848	
B	レセプト件数(件)	入院外	141,247	140,498	134,511
		入院	5,155	5,065	4,630
		調剤	79,856	79,713	77,573
		合計	226,258	225,276	216,714
C	医療費(円) ※	5,995,358,450	6,190,484,560	5,686,860,410	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	8,628	8,515	8,127	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	375,128	396,555	383,001	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	26,498	27,480	26,241	
D/A	有病率(%)	54.0%	54.5%	54.7%	

データ化範囲(分析対象)…入院、入院外、調剤の電子レセプト。

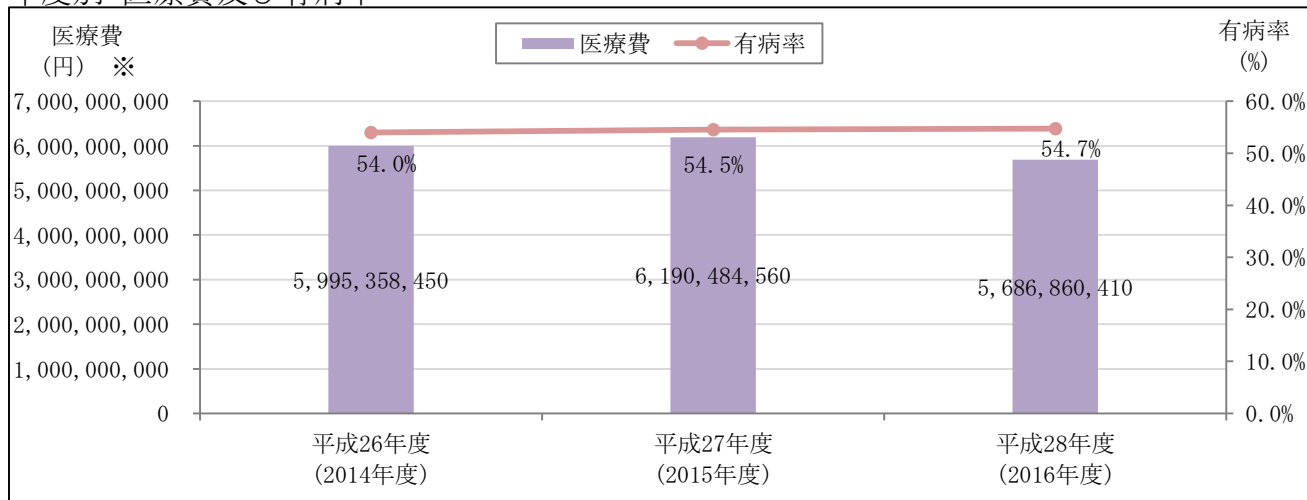
対象診療年月は平成26年(2014年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年(2014年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 疾病別医療費

① 大分類による疾病別医療費統計

平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

大分類で見ると、毎年の医療費1位は「循環器系の疾患」である。その他、「新生物」「内分泌、栄養及び代謝疾患」も上位を占める。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度 (2014年)			平成27年度 (2015年)			平成28年度 (2016年)		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	102,425,250	1.7%	14	243,828,230	3.9%	10	141,581,779	2.5%	12
II. 新生物<腫瘍>	683,322,026	11.4%	2	640,681,761	10.4%	3	688,758,641	12.1%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	72,819,254	1.2%	15	75,010,777	1.2%	15	60,903,019	1.1%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	595,914,813	10.0%	4	613,664,697	9.9%	4	567,467,250	10.0%	4
V. 精神及び行動の障害	677,643,962	11.3%	3	642,417,238	10.4%	2	627,502,811	11.1%	3
VI. 神経系の疾患	290,454,429	4.9%	9	348,657,102	5.6%	9	297,934,828	5.3%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	201,552,295	3.4%	11	220,890,608	3.6%	11	192,707,563	3.4%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	33,887,851	0.6%	16	29,862,400	0.5%	16	23,031,614	0.4%	17
IX. 循環器系の疾患	977,131,394	16.3%	1	1,022,018,772	16.6%	1	896,352,056	15.8%	1
X. 呼吸器系の疾患	368,484,407	6.2%	8	371,440,909	6.0%	8	309,624,139	5.5%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	429,899,860	7.2%	7	442,444,244	7.2%	7	407,259,544	7.2%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	116,996,952	2.0%	12	115,762,021	1.9%	13	107,252,699	1.9%	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	570,886,837	9.5%	5	568,311,559	9.2%	5	550,858,920	9.7%	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	454,170,233	7.6%	6	445,837,000	7.2%	6	396,857,526	7.0%	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	8,521,003	0.1%	19	8,384,310	0.1%	20	5,198,377	0.1%	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	7,314,010	0.1%	20	11,960,160	0.2%	18	1,280,388	0.0%	21
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	13,458,302	0.2%	18	9,319,164	0.2%	19	9,963,706	0.2%	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	116,394,519	1.9%	13	114,046,578	1.8%	14	109,769,185	1.9%	13
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	233,479,917	3.9%	10	218,669,655	3.5%	12	248,822,682	4.4%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	25,095,695	0.4%	17	25,309,422	0.4%	17	24,705,096	0.4%	16
X X II. 特殊目的用コード	28,702	0.0%	22	0	0.0%		0	0.0%	
分類外	6,520,379	0.1%	21	6,785,713	0.1%	21	6,617,847	0.1%	19
合計	5,986,402,090			6,175,302,320			5,674,449,670		

データ化範囲(分析対象)…入院、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年(2014年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	379,562,558	6.7%	520
2	0402 糖尿病	280,738,508	4.9%	4,474
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	278,257,657	4.9%	1,829
4	0901 高血圧性疾患	277,501,255	4.9%	4,850
5	1402 腎不全	274,244,445	4.8%	379
6	1113 その他の消化器系の疾患	227,755,918	4.0%	4,700
7	0903 その他の心疾患	209,510,834	3.7%	2,422
8	0902 虚血性心疾患	174,672,819	3.1%	1,916
9	0403 脂質異常症	158,834,968	2.8%	3,462
10	0606 その他の神経系の疾患	156,636,449	2.8%	2,839

データ化範囲(分析対象)…入院、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	277,501,255	4,850	36.0%
2	1113 その他の消化器系の疾患	227,755,918	4,700	34.8%
3	0402 糖尿病	280,738,508	4,474	33.2%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	109,769,185	4,334	32.1%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	70,064,461	4,304	31.9%
6	0703 屈折及び調節の障害	18,087,676	3,660	27.1%
7	0403 脂質異常症	158,834,968	3,462	25.7%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	49,076,829	3,359	24.9%
9	1003 その他の急性上気道感染症	22,154,675	3,194	23.7%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	98,369,131	3,042	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度 (2014年度)	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	427,055,413	7.1%	530
	2	1402 腎不全	318,254,313	5.3%	385
	3	0901 高血圧性疾患	310,637,401	5.2%	4,959
	4	0402 糖尿病	292,004,811	4.9%	4,413
	5	1113 その他の消化器系の疾患	238,561,257	4.0%	4,858
	6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	229,739,095	3.8%	1,849
	7	0903 その他の心疾患	204,188,391	3.4%	2,529
	8	0902 虚血性心疾患	163,143,845	2.7%	1,980
	9	0403 脂質異常症	161,032,145	2.7%	3,398
	10	0606 その他の神経系の疾患	156,353,037	2.6%	2,969
平成27年度 (2015年度)	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	396,206,720	6.4%	538
	2	0901 高血圧性疾患	310,997,608	5.0%	4,956
	3	1402 腎不全	309,820,550	5.0%	405
	4	0402 糖尿病	293,470,727	4.8%	4,500
	5	1113 その他の消化器系の疾患	243,135,062	3.9%	4,886
	6	0903 その他の心疾患	241,293,352	3.9%	2,492
	7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	220,276,867	3.6%	1,927
	8	0902 虚血性心疾患	213,804,674	3.5%	2,005
	9	0606 その他の神経系の疾患	194,079,905	3.1%	2,951
	10	0403 脂質異常症	171,293,611	2.8%	3,495
平成28年度 (2015年度)	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	379,562,558	6.7%	520
	2	0402 糖尿病	280,738,508	4.9%	4,474
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	278,257,657	4.9%	1,829
	4	0901 高血圧性疾患	277,501,255	4.9%	4,850
	5	1402 腎不全	274,244,445	4.8%	379
	6	1113 その他の消化器系の疾患	227,755,918	4.0%	4,700
	7	0903 その他の心疾患	209,510,834	3.7%	2,422
	8	0902 虚血性心疾患	174,672,819	3.1%	1,916
	9	0403 脂質異常症	158,834,968	2.8%	3,462
	10	0606 その他の神経系の疾患	156,636,449	2.8%	2,839

データ化範囲(分析対象)…入院、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年(2014年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度 (2014年度)	1	0901 高血圧性疾患	310,637,401	4,959	34.2%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	238,561,257	4,858	33.5%
	3	1105 胃炎及び十二指腸炎	76,851,892	4,840	33.3%
	4	0402 糖尿病	292,004,811	4,413	30.4%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	116,394,519	4,374	30.1%
	6	0703 屈折及び調節の障害	19,100,987	3,674	25.3%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	54,248,846	3,651	25.1%
	8	1003 その他の急性上気道感染症	25,681,143	3,451	23.8%
	9	0403 脂質異常症	161,032,145	3,398	23.4%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	45,506,517	3,121	21.5%
平成27年度 (2015年度)	1	0901 高血圧性疾患	310,997,608	4,956	35.1%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	243,135,062	4,886	34.6%
	3	1105 胃炎及び十二指腸炎	83,179,630	4,637	32.8%
	4	0402 糖尿病	293,470,727	4,500	31.8%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	114,046,578	4,394	31.1%
	6	0703 屈折及び調節の障害	20,288,790	3,713	26.3%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	52,188,315	3,587	25.4%
	8	0403 脂質異常症	171,293,611	3,495	24.7%
	9	1003 その他の急性上気道感染症	24,633,973	3,492	24.7%
	10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	25,783,391	3,142	22.2%
平成28年度 (2015年度)	1	0901 高血圧性疾患	277,501,255	4,850	36.0%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	227,755,918	4,700	34.8%
	3	0402 糖尿病	280,738,508	4,474	33.2%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	109,769,185	4,334	32.1%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	70,064,461	4,304	31.9%
	6	0703 屈折及び調節の障害	18,087,676	3,660	27.1%
	7	0403 脂質異常症	158,834,968	3,462	25.7%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	49,076,829	3,359	24.9%
	9	1003 その他の急性上気道感染症	22,154,675	3,194	23.7%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	98,369,131	3,042	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年(2014年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

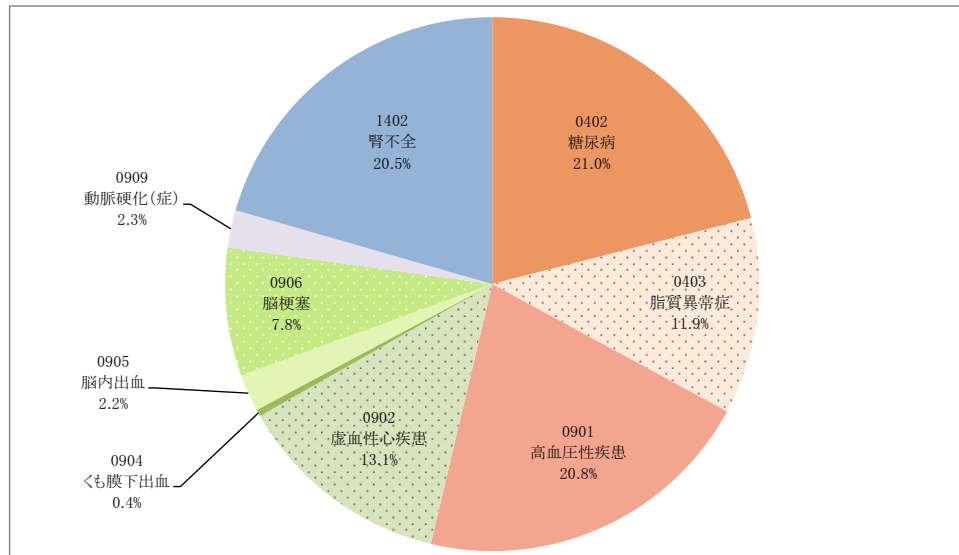
3. 生活習慣病に係る医療費

平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。糖尿病医療費は2億8,074万円、脂質異常症医療費は1億5,883万円、高血圧性疾患医療費は2億7,750万円となっている。

生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
0402 糖尿病	280,738,508	4,474	62,749
0403 脂質異常症	158,834,968	3,462	45,880
0901 高血圧性疾患	277,501,255	4,850	57,217
0902 虚血性心疾患	174,672,819	1,916	91,165
0904 くも膜下出血	5,482,250	26	210,856
0905 脳内出血	29,958,871	288	104,024
0906 脳梗塞	103,573,432	924	112,092
0907 脳動脈硬化(症)	6,297	2	3,149
0909 動脈硬化(症)	30,462,969	873	34,895
1402 腎不全	274,244,445	379	723,600

生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

第3章 特定健康診査の実施状況

1. 特定健康診査の受診率

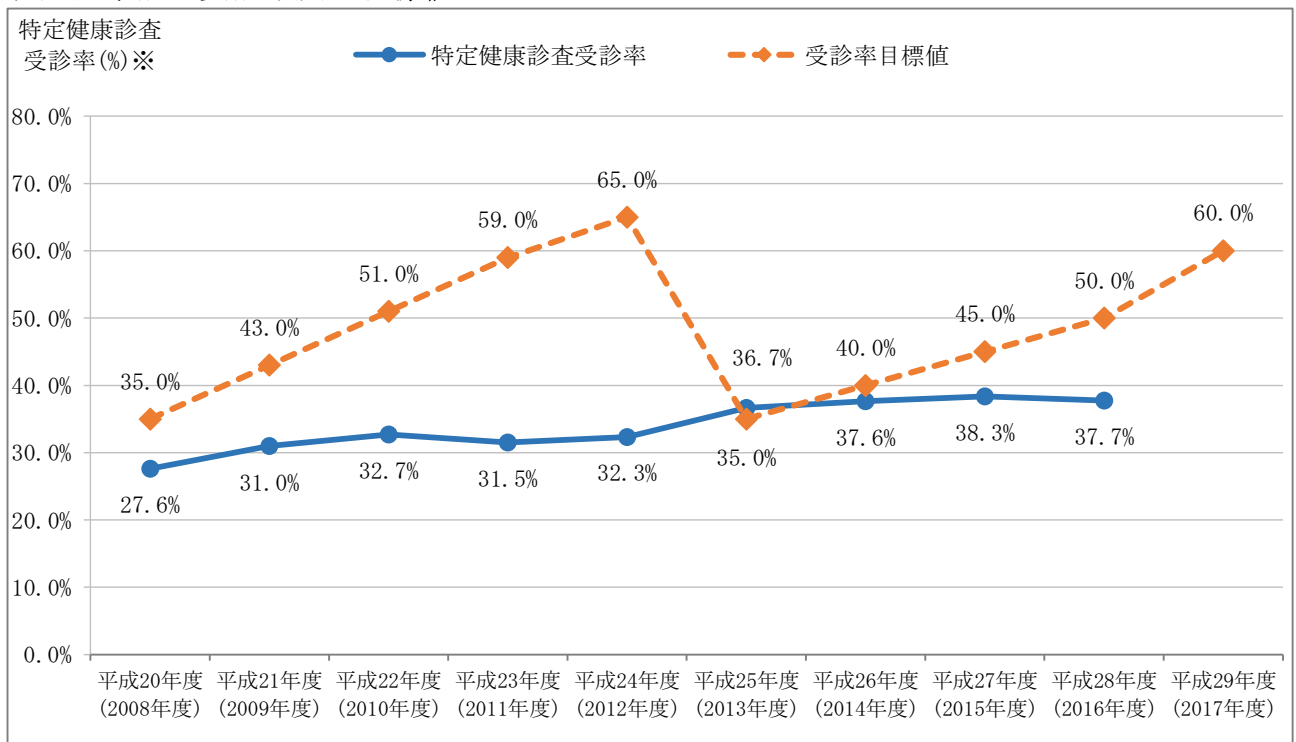
平成20年度(2008年度)から平成28年度(2016年度)における、特定健康診査の受診状況等は以下の通りである。

特定健康診査受診率及び目標値

年度	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
特定健康診査 対象者数(人)	12,113	11,951	11,673	11,621	11,476	11,370	11,113	10,899	10,570	—
特定健康診査 受診者数(人)	3,346	3,702	3,819	3,662	3,712	4,168	4,182	4,179	3,990	—
特定健康診査 受診率(%)※	27.6%	31.0%	32.7%	31.5%	32.3%	36.7%	37.6%	38.3%	37.7%	—
受診率目標値(%)	35.0%	43.0%	51.0%	59.0%	65.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	60.0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

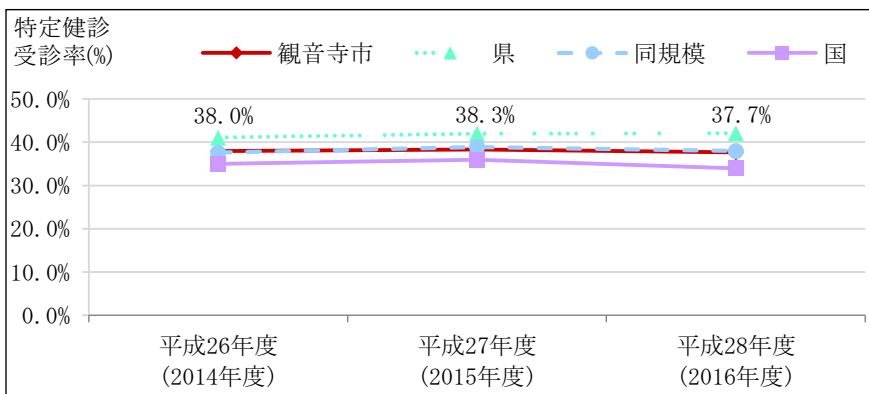
本市の平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度(2016年度)の特定健康診査受診率37.7%は平成26年度(2014年度)38.0%より0.3ポイント低下している。

年度別 特定健康診査受診率

	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
観音寺市	38.0%	38.3%	37.7%
県	41.1%	42.0%	42.5%
同規模	37.6%	38.9%	38.0%
国	35.0%	36.0%	36.4%

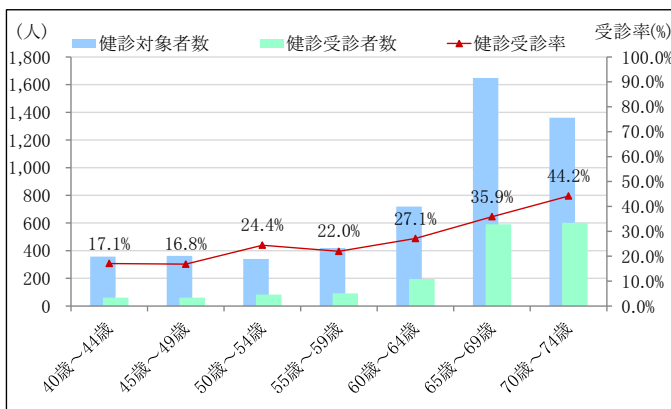
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定健康診査受診率

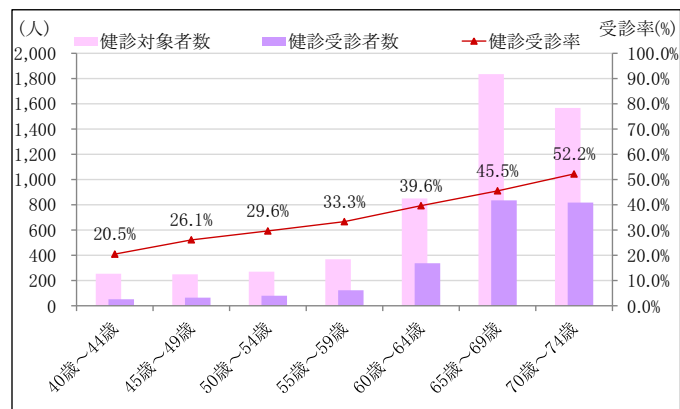


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(男性)年齢別特定健康診査受診率 平成28年度(2016年度)



(女性)年齢別特定健康診査受診率 平成28年度(2016年)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

2. 特定健康診査結果の分析

(1) 有所見者割合

平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下の通りである。

有所見者割合

	BMI			腹囲			血圧			脂質			血糖		
	観音寺市	県	国	観音寺市	県	国	観音寺市	県	国	観音寺市	県	国	観音寺市	県	国
対象者数(人)※	3,994	70,392	—	3,994	70,392	—	3,994	70,392	—	3,994	70,392	—	3,994	70,392	—
有所見者数(人)※	210	3,811	—	1,434	23,491	—	283	4,657	—	115	2,144	—	38	500	—
有所見者割合(%)※	5.3	5.4	4.7	35.9	33.4	31.5	7.1	6.6	7.4	2.9	3.0	2.6	1.0	0.7	0.7

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

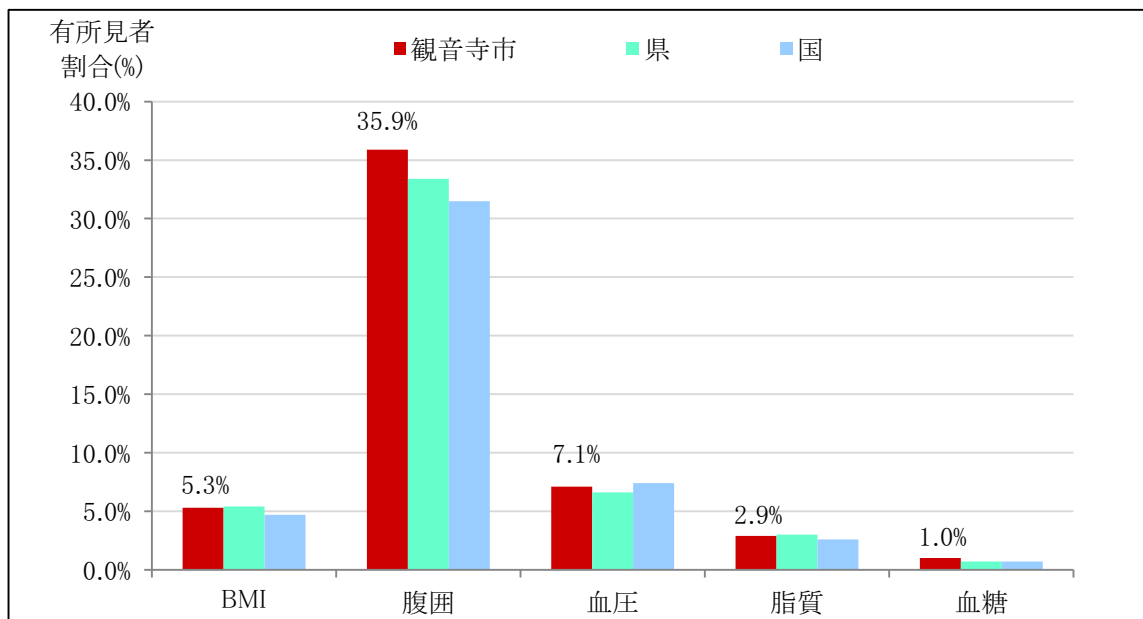
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

有所見者割合



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

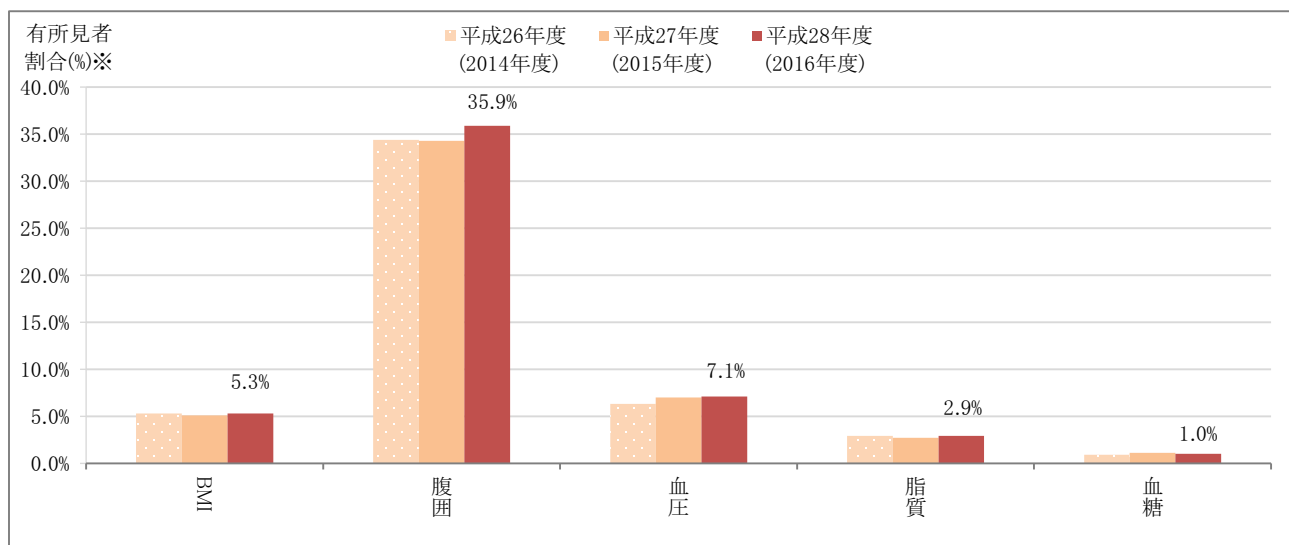
平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示す。

脂質は減少しているが、腹囲・血圧・血糖は増加傾向である。

年度別 有所見者割合

		平成26年度 (2014年度)			平成27年度 (2015年度)			平成28年度 (2016年度)		
		観音寺市	県	国	観音寺市	県	国	観音寺市	県	国
健診受診者数		4,224	72,070	—	4,184	72,374	—	3,994	70,392	—
BMI	有所見者数(人)※	223	3,937	—	212	3,923	—	210	3,811	—
	有所見者割合(%)※	5.3	5.5	4.8	5.1	5.4	4.7	5.3	5.4	4.7
腹囲	有所見者数(人)※	1,455	23,347	—	1,435	23,642	—	1,434	23,491	—
	有所見者割合(%)※	34.4	32.4	30.6	34.3	32.7	30.9	35.9	33.4	31.5
血圧	有所見者数(人)※	267	4,684	—	293	4,918	—	283	4,657	—
	有所見者割合(%)※	6.3	6.5	7.4	7	6.8	7.4	7.1	6.6	7.4
脂質	有所見者数(人)※	122	2,077	—	115	2,161	—	115	2,144	—
	有所見者割合(%)※	2.9	2.9	2.6	2.7	3	2.6	2.9	3.0	2.6
血糖	有所見者数(人)※	39	497	—	44	497	—	38	500	—
	有所見者割合(%)※	0.9	0.7	0.6	1.1	0.7	0.6	1.0	0.7	0.7

年度別 有所見者割合



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
 BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

(2) 質問別回答状況

平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況は以下の通りである。

質問別 回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣		食習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食
質問回答者数(人) ※	3,994	3,447	3,444	3,446	3,447
選択者数(人) ※	412	1,986	1,666	472	428
選択者割合(%) ※	10.3	57.6	48.4	13.7	12.4

質問の選択肢	飲酒習慣	生活習慣
	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	3,743	3,417
選択者数(人) ※	777	1,065
選択者割合(%) ※	20.8	31.2

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※質問回答者数…質問に回答した人数。

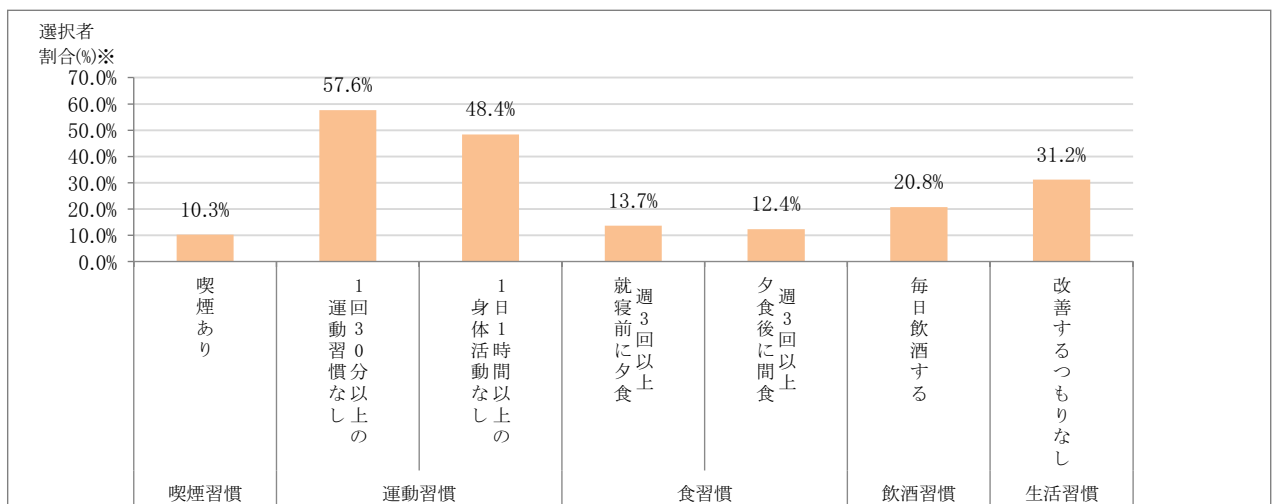
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

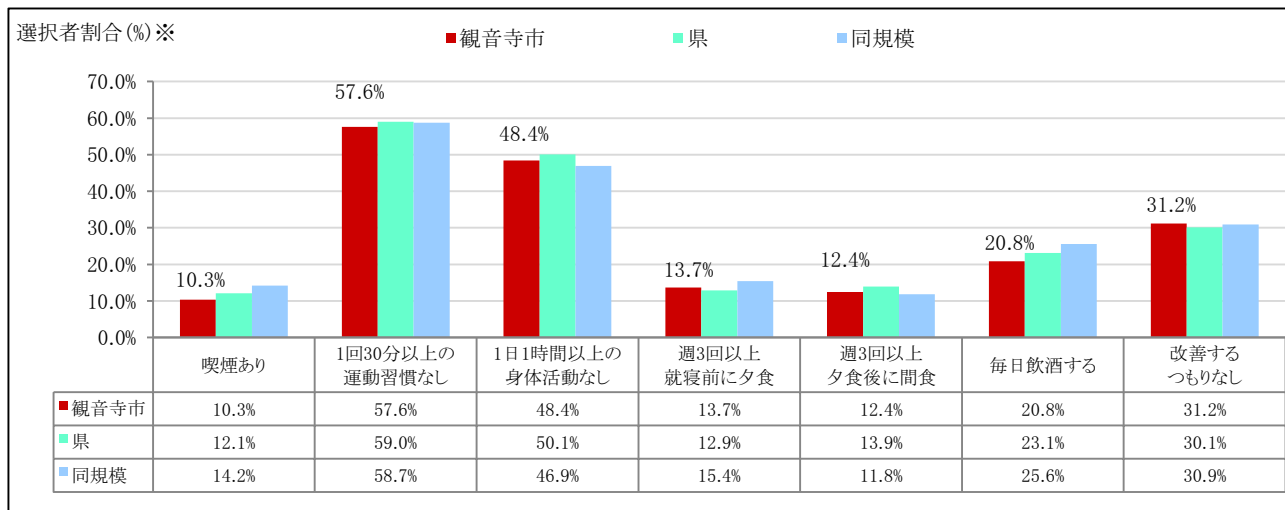
喫煙あり	…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
1回30分以上の運動習慣なし	…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
1日1時間以上の身体活動なし	…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
週3回以上就寝前に夕食	…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
週3回以上夕食後に間食	…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
毎日飲酒する	…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
改善するつもりなし	…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

質問別 選択者割合

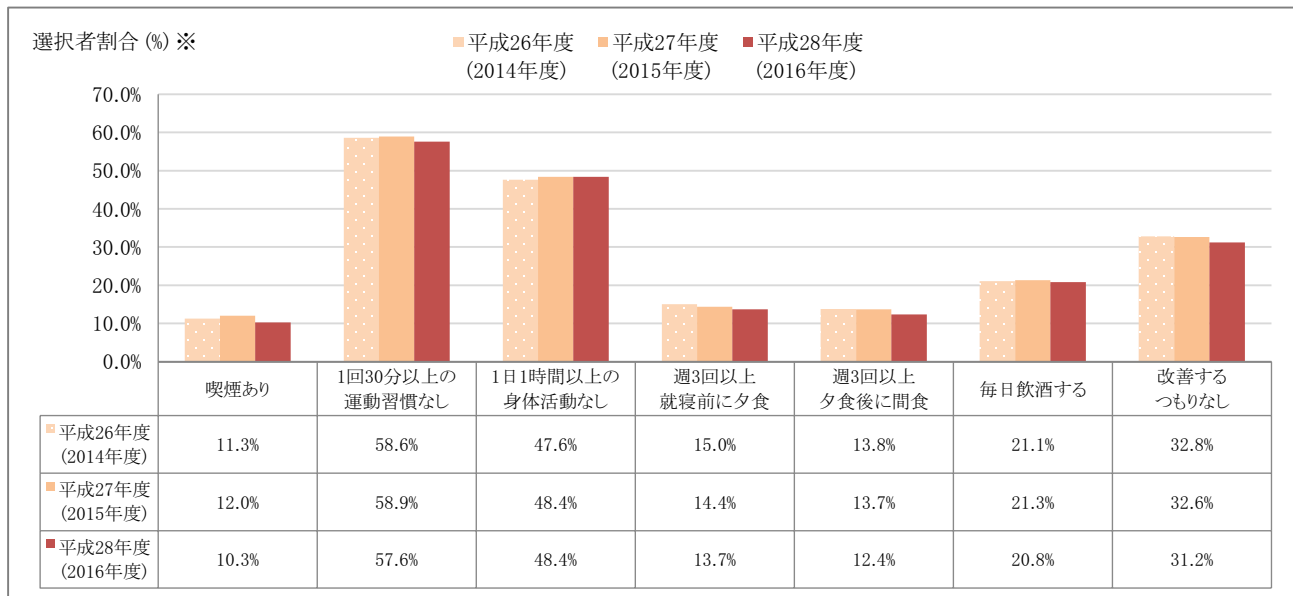


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

質問別 選択者割合(グループ比較)



質問別 選択者割合(年度比較)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 3合以上 …「飲酒日の1日当たりの飲酒量」の質問に対し、「3合以上」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の56.9%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の40.5%である。

特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	4,005	35.4%	6,121,835	242,563,870	248,685,705
健診未受診者	7,312	64.6%	31,777,494	370,364,098	402,141,592
合計	11,317		37,899,329	612,927,968	650,827,297

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	132	3.3%	2,279	56.9%	2,280	56.9%	46,378	106,434	109,073
健診未受診者	340	4.6%	2,937	40.2%	2,963	40.5%	93,463	126,103	135,721
合計	472	4.2%	5,216	46.1%	5,243	46.3%	80,295	117,509	124,133

データ化範囲(分析対象)…入院、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年(2017年)3月31日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

3. 特定健康診査に係る主な取り組み

特定健康診査に係る、これまでの主な取り組みを以下に示す。

実施年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成25～29年度(2013～2017年度)	個別通知を送付及び受診勧奨	健診の周知	対象者全員に個別通知を送付する。未受診者には再度勧奨電話や通知を行う。	平成28年度(2016年度) 電話勧奨 3,049人 受診率 37.0% 無料対象者、連絡未受診者のハガキ勧奨 747人 無料対象者 受診率 40.6%
平成25～29年度(2013～2017年度)	広報紙等への掲載	健診の周知	広報紙、国保だより、健康栄養相談、教育等あらゆる機会を活用し周知する。	同左 ポスターを作成し、公民館、スーパー等に掲示した。
平成25～29年度(2013～2017年度)	医療機関での周知	健診の周知	医療機関でのポスター掲示、窓口での声かけを行ってもらう。医療機関の協力と理解を得る。	同左
平成25～29年度(2013～2017年度)	他検診との同時実施	健診体制を充実	大腸がん検診、肝炎ウィルス検診、前立腺がん検診、骨粗鬆症検診の同時実施を行う。追加健診を継続実施する。	同左
平成25～29年度(2013～2017年度)	受診率向上及び他の健診結果データの活用	健診体制を充実	節目年齢(40・45・50・55・60歳)を対象に自己負担金の無料化を行う。 他機関での人間ドック健診、事業所検診、かかりつけ医での受診データ等を活用するため、市民への周知、医療機関との連携を積極的に図る。	平成28年度(2016年度) 節目年齢受診率(60歳を除く) 28.6% 情報提供 264件

4. 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下の通りである。

◆特定健康診査受診率

平成28年度(2016年度)特定健康診査受診率37.7%は、市区町村国保の平成29年度(2017年度)到達目標値60%に未到達である。受診率向上を目指し、受診勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

◆有所見者の状況

HbA1c、収縮期血圧、LDLコレステロール、空腹時血糖の有所見者割合が高い。特定健康診査の結果を活用することで被保険者に生活習慣を見直すきっかけを提供し、生活習慣病を予防する。

◆質問票の回答状況

喫煙習慣では「喫煙あり」10.3%、飲酒習慣では「毎日飲酒する」20.8%、生活習慣では「改善するつもりなし」31.2%である。ポピュレーションアプローチで生活習慣改善を促す取り組みが必要である。

第4章 特定保健指導の実施状況

1. 特定保健指導の実施率

平成20年度(2008年度)から平成28年度(2016年度)における、特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

特定保健指導実施率及び目標値

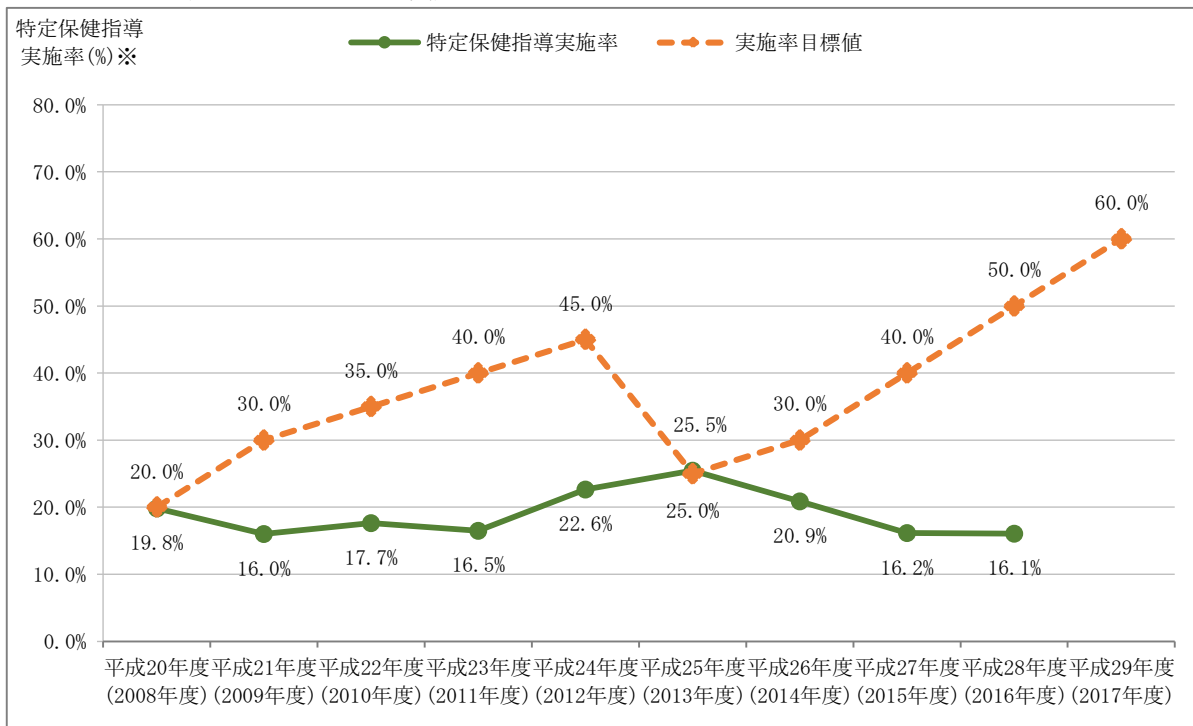
	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
特定保健指導 対象者数(人)	585	581	555	527	526	554	551	526	523	—
特定保健指導 利用者数(人)	123	113	101	99	132	130	129	93	85	—
特定保健指導 実施者数(人)※	116	93	98	87	119	141	115	85	84	—
特定保健指導 実施率(%)※	19.8%	16.0%	17.7%	16.5%	22.6%	25.5%	20.9%	16.2%	16.1%	—
実施率目標値(%)	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	25.0%	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

特定保健指導実施率及び目標値



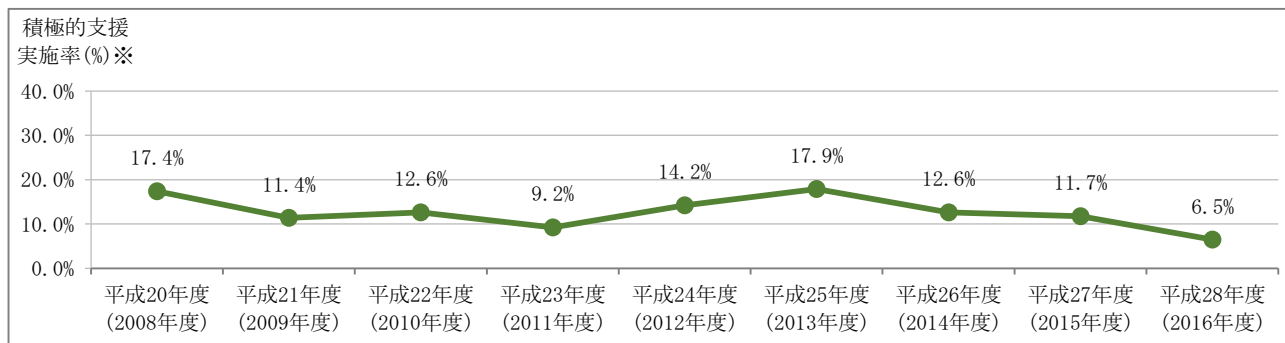
特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

支援レベル別の特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

積極的支援実施状況

	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
積極的支援対象者数(人)	138	158	159	141	134	151	143	145	124
積極的支援利用者数(人)	28	23	17	17	21	26	23	14	10
積極的支援実施者数(人)※	24	18	20	13	19	27	18	17	8
積極的支援実施率(%)※	17.4%	11.4%	12.6%	9.2%	14.2%	17.9%	12.6%	11.7%	6.5%



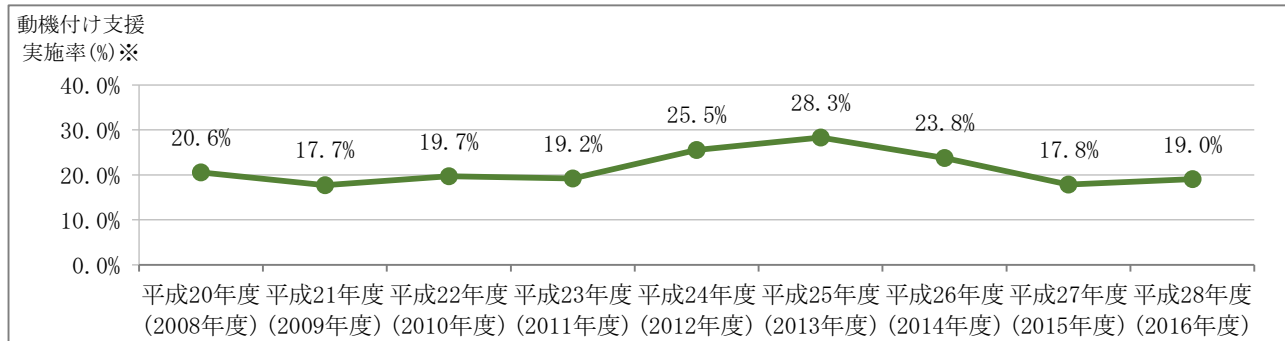
積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況

	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
動機付け支援対象者数(人)	447	423	396	386	392	403	408	381	399
動機付け支援利用者数(人)	95	90	84	82	111	104	106	79	75
動機付け支援実施者数(人)※	92	75	78	74	100	114	97	68	76
動機付け支援実施率(%)※	20.6%	17.7%	19.7%	19.2%	25.5%	28.3%	23.8%	17.8%	19.0%



動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

本市の平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成28年度(2016年度)の特定保健指導実施率14.8は平成26年度(2014年度)21.6%より6.8ポイント低下している。

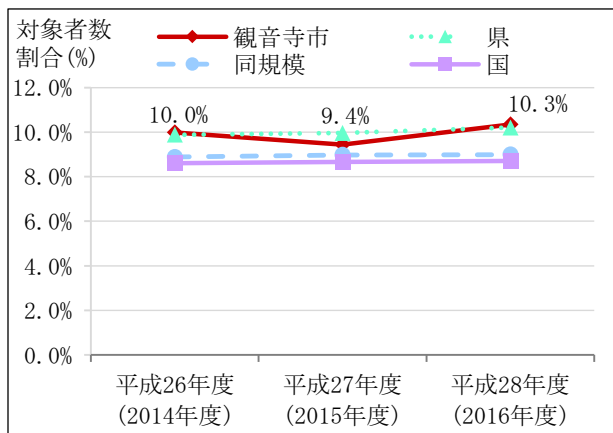
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
観音寺市	10.0%	9.4%	10.3%	3.5%	3.5%	3.2%	13.5%	13.0%	13.5%	21.6%	16.2%	14.8%
県	9.9%	10.0%	10.2%	3.1%	3.1%	2.9%	13.0%	13.0%	13.1%	23.0%	25.1%	26.0%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	3.2%	3.0%	2.9%	12.1%	12.0%	11.9%	26.7%	28.3%	30.2%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	12.0%	19.9%	20.2%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

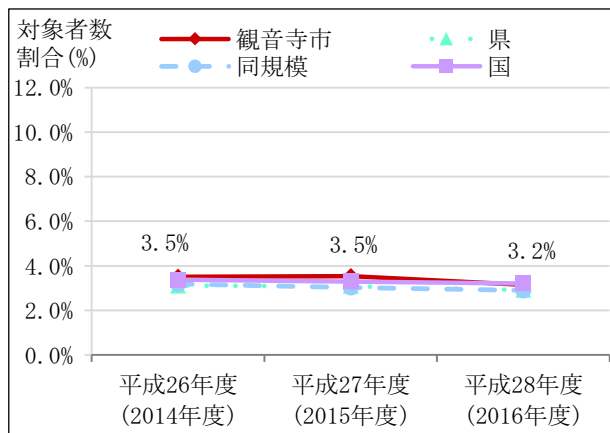
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



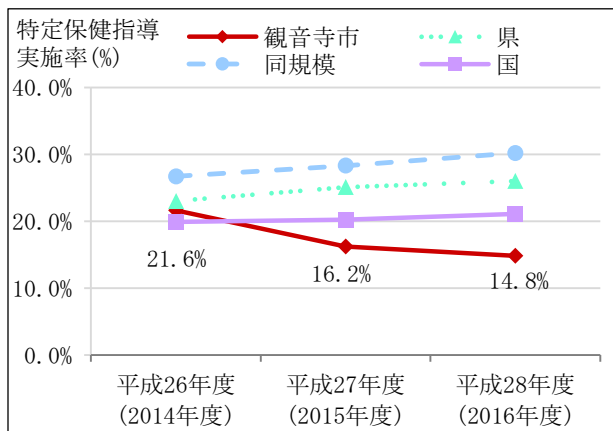
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 特定保健指導の効果分析

平成25年度(2013年度)から平成28年度(2016年度)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示す。平成28年度(2016年度)基準該当21.4%は平成25年度(2013年度)21.1%より上昇しており、平成28年度(2016年度)予備群該当11.1%は平成25年度(2013年度)10.2%より上昇している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)
平成25年度 (2013年度)	4,077
平成26年度 (2014年度)	4,208
平成27年度 (2015年度)	4,198
平成28年度 (2016年度)	4,005

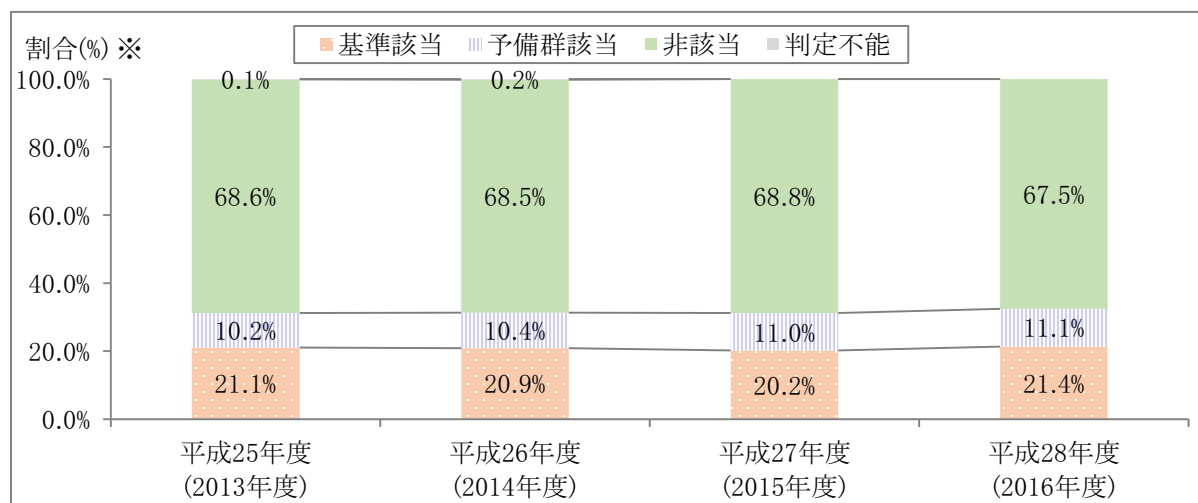
年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成25年度 (2013年度)	861	21.1%	414	10.2%	2,796	68.6%	6	0.1%
平成26年度 (2014年度)	881	20.9%	436	10.4%	2,883	68.5%	8	0.2%
平成27年度 (2015年度)	848	20.2%	463	11.0%	2,887	68.8%	0	0.0%
平成28年度 (2016年度)	856	21.4%	445	11.1%	2,704	67.5%	0	0.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成25年(2013年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成25年(2013年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

3. 特定保健指導対象者の分析

(1) 保健指導レベル該当状況

平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)における、保健指導レベル該当状況は以下の通りである。積極的支援対象者は132人、動機付け支援対象者は409人である。

保健指導レベル該当状況

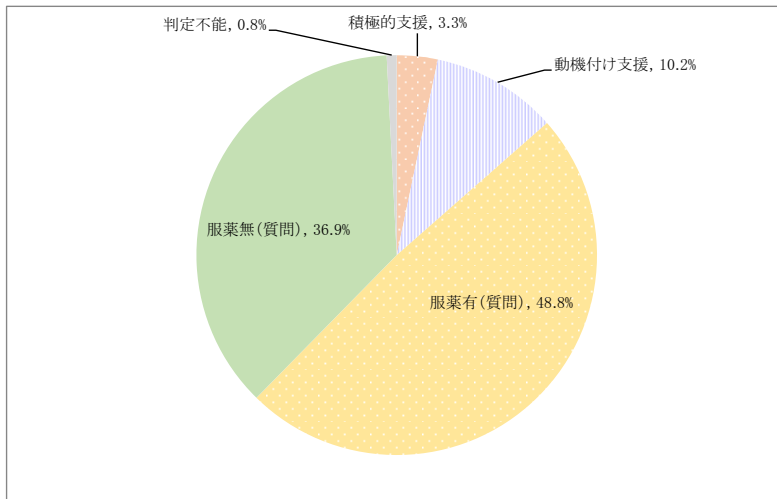
	健診受診者数 (人)	該当レベル					
		特定保健指導対象者(人)			情報提供		判定不能
		積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)		
該当者数(人)	4,005	541	132	409	1,956	1,476	32
割合※(%)	-	13.5%	3.3%	10.2%	48.8%	36.9%	0.8%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年(2017年)3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年(2017年)3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血压		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	なし	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	あり		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	なし	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	あり		
	1つ該当	なし		

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血压:収縮期血压130mmHg以上、または拡張期血压85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

また、年齢階層別保健指導レベル該当状況は以下の通りである。

年齢階層別 保健指導レベル該当状況

年齢階層	健診受診者数 (人)	特定保健指導対象者数(人)				
			積極的支援		動機付け支援	
			人数(人)	割合(%)※	人数(人)	割合(%)※
40歳～44歳	113	16	10	8.8%	6	5.3%
45歳～49歳	126	35	24	19.0%	11	8.7%
50歳～54歳	163	33	22	13.5%	11	6.7%
55歳～59歳	216	36	19	8.8%	17	7.9%
60歳～64歳	534	88	52	9.7%	36	6.7%
65歳～69歳	1,432	176	(※1) 5	0.3%	171	11.9%
70歳～74歳	1,421	157	0	0.0%	157	11.0%
合計	4,005	541	132	3.3%	409	10.2%

年齢階層	健診受診者数 (人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%)※	人数(人)	割合(%)※	人数(人)	割合(%)※
40歳～44歳	113	11	9.7%	86	76.1%	0	0.0%
45歳～49歳	126	14	11.1%	77	61.1%	0	0.0%
50歳～54歳	163	45	27.6%	85	52.1%	0	0.0%
55歳～59歳	216	66	30.6%	112	51.9%	2	0.9%
60歳～64歳	534	229	42.9%	215	40.3%	2	0.4%
65歳～69歳	1,432	753	52.6%	493	34.4%	10	0.7%
70歳～74歳	1,421	838	59.0%	408	28.7%	18	1.3%
合計	4,005	1,956	48.8%	1,476	36.9%	32	0.8%

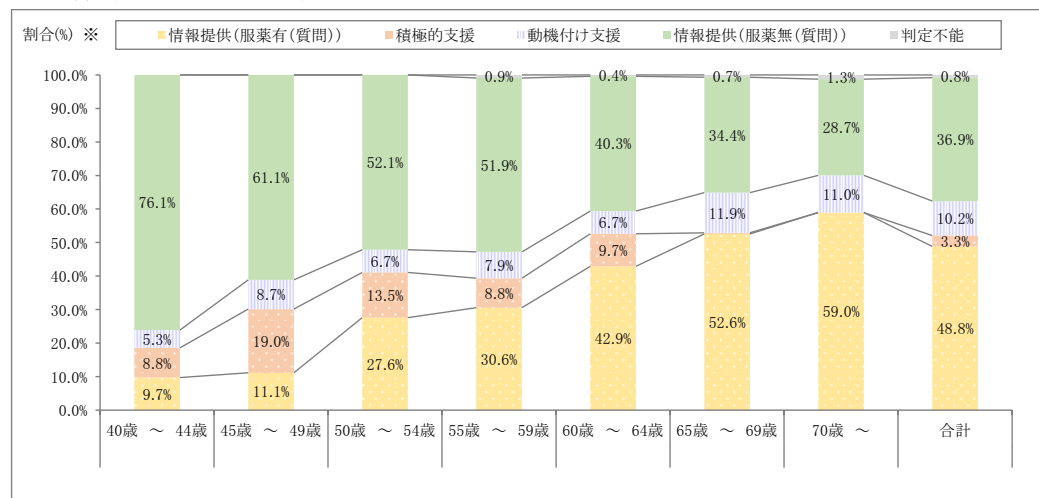
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年(2017年)3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※1…当該年度内65歳の人は動機付け支援として保健指導を実施する。

年齢階層別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年(2017年)3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

平成25年度(2013年度)から平成28年度(2016年度)における、保健指導レベル該当状況を年度別に示す。平成28年度(2016年度)積極的支援132人は平成25年度(2013年度)137人より減少しており、平成28年度(2016年度)動機付け支援409人は平成25年度(2013年度)385人より増加している。

年度別 保健指導レベル該当状況

年度	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		522	積極的支援		動機付け支援	
			人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成25年度 (2013年度)	4,077	137	3.4%	385	9.4%	
平成26年度 (2014年度)	4,208	139	3.3%	411	9.8%	
平成27年度 (2015年度)	4,198	147	3.5%	398	9.5%	
平成28年度 (2016年度)	4,005	132	3.3%	409	10.2%	

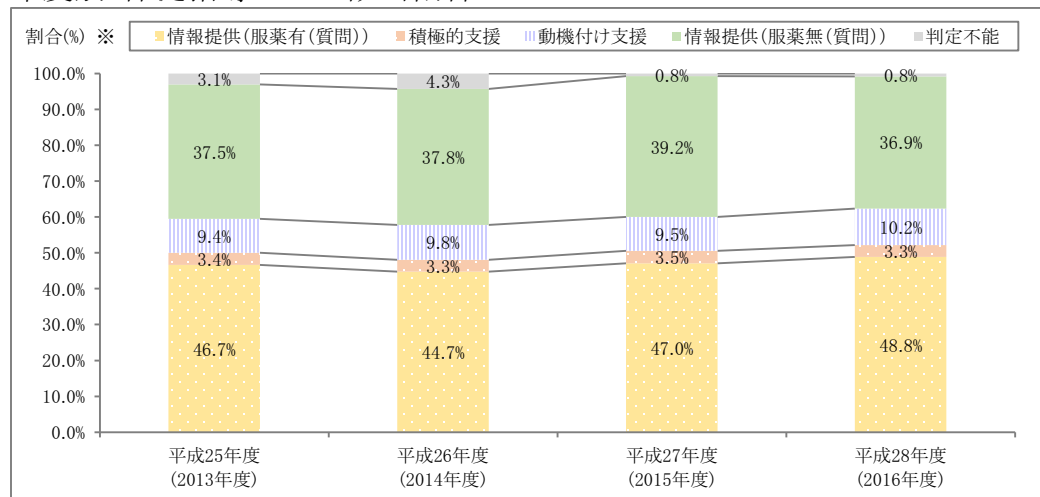
年度	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)		人数(人)	割合(%) ※
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※		
平成25年度 (2013年度)	4,077	1,902	46.7%	1,528	37.5%	125	3.1%
平成26年度 (2014年度)	4,208	1,883	44.7%	1,592	37.8%	183	4.3%
平成27年度 (2015年度)	4,198	1,975	47.0%	1,646	39.2%	32	0.8%
平成28年度 (2016年度)	4,005	1,956	48.8%	1,476	36.9%	32	0.8%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成25年(2013年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成25年(2013年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(48カ月分)。

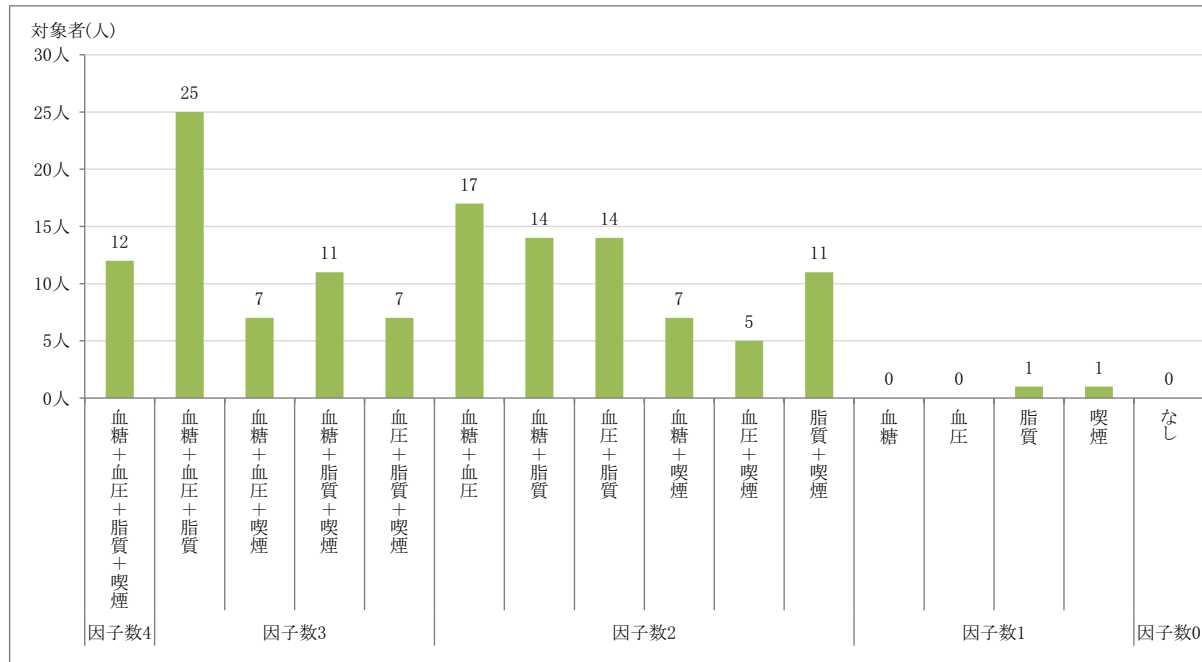
資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(2) 特定保健指導リスク因子別該当状況

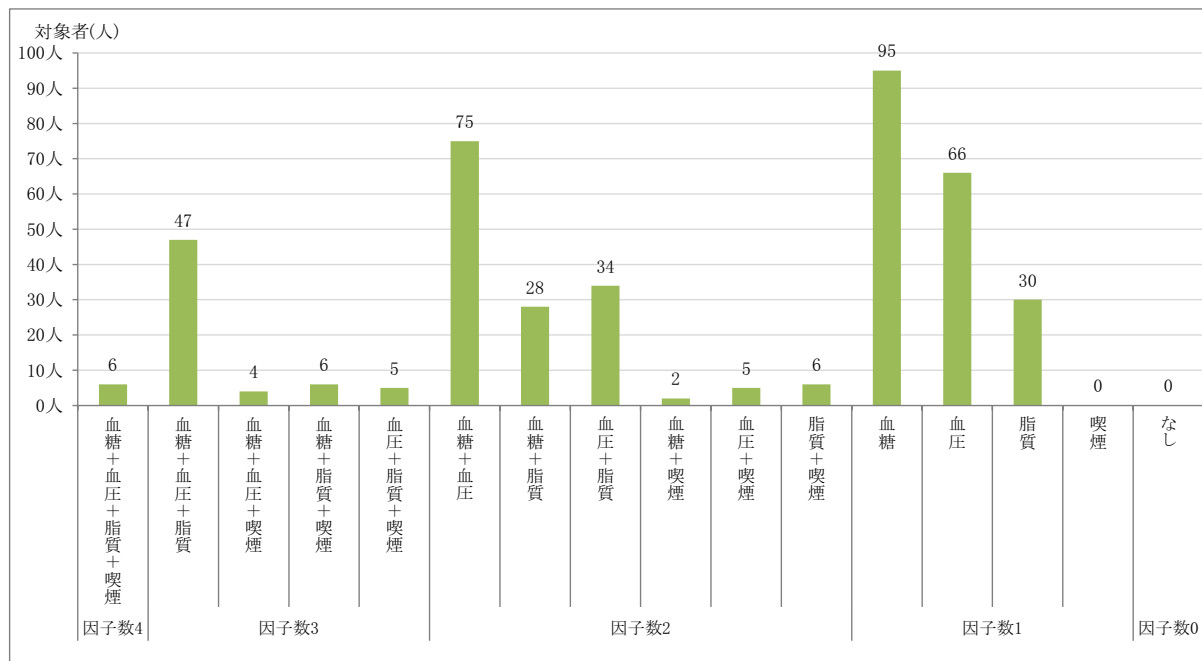
平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)における、特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況を以下に示す。

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年(2017年)3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年(2017年)3月31日時点。

4. 特定保健指導に係る主な取り組み

特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを以下に示す。

実施年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成25～29年度(2013～2017年度)	個別通知を送付	特定保健指導の周知	対象者全員に個別通知を送付する。リーフレット等を同封し、制度理解を深める。	同左 未利用者に対し、個別に電話勧奨を行った。
平成25～29年度(2013～2017年度)	医療機関での利用勧奨	特定保健指導の周知	医療機関に利用勧奨の協力依頼を行う。	同左 該当者には声掛け勧奨を行う。 ポスター掲示。 健診結果説明時に、指導を開始できるように協力依頼を行った。
平成25～29年度(2013～2017年度)	広報紙等	特定保健指導の周知	広報紙等を通じて啓発する。(利用者の身近な意見を掲載する)	同左
平成25～29年度(2013～2017年度)	集団指導・個別指導の提供	特定保健指導の機会の拡充	保健指導対象者が保健指導を利用しやすい状況にあわせた、集団指導・個別指導の提供を行う。	指導機関を利用者の選択制とし、支援方法も集団、個別、訪問等利用しやすい体制とした。他事業と連携し、来所時に併せて指導を開始した。
平成25～29年度(2013～2017年度)	サポート教室の開催	継続支援体制の整備	サポート教室を年2回開催し、意欲(意識)の継続を図る。	同左 サポートだよりを年1回発行した。
平成25～29年度(2013～2017年度)	仲間づくりの場を提供	継続支援体制の整備	仲間づくりの場を提供し、自主組織へのきっかけをつくる。	一般保健事業に参加を勧奨し、継続的に支援できる体制とした。
平成25～29年度(2013～2017年度)	ポピュレーションアプローチの利用勧奨	継続支援体制の整備	ポピュレーションアプローチの利用を勧奨する。	一般保健事業に参加を勧奨し、継続的に支援できる体制とした。

5. 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下の通りである。

◆特定保健指導実施率

平成28年度(2016年度)特定保健指導実施率16.1%(法定報告値)は、市区町村国保の平成29年度(2017年度)到達目標値60%に未到達である。実施率向上を目指し、利用勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※KDBより算出

◆メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当状況

メタボリックシンドローム基準該当割合は21.4%、予備群該当割合は11.1%である。また、積極的支援対象者割合は3.3%、動機付け支援対象者割合は10.2%である。メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当者数を減少させるため、年齢が比較的若い対象者に対して優先的に指導する等、効果的・効率的な特定保健指導を実施する必要がある。

※健康診査データより算出

第5章 特定健康診査等実施計画

1. 目標

国では、市区町村国保において、計画期間の最終年度である平成35年度(2023年度)までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上を達成することとしている。本市においては各年度の目標値を以下の通り設定する。

目標値

	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	平成35年度 (2023年度) (国基準)
特定健康診査受診率(%)	43.0%	47.0%	50.0%	53.0%	57.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導実施率(%)	27.0%	34.0%	40.0%	46.0%	53.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導対象者の 減少率(%)※						25.0%	25.0%以上

※平成20年(2008年度)比

2. 対象者数推計

(1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

平成30年度(2018年度)から平成35年度(2023年度)までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示す。

特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)
特定健康診査対象者数(人)	10,151	9,761	9,354	9,044	8,549	7,848
特定健康診査受診率(%) (目標値)	43.0%	47.0%	50.0%	53.0%	57.0%	60.0%
特定健康診査受診者数(人)	4,364	4,587	4,677	4,793	4,872	4,708

年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	4,352	4,034	3,760	3,533	3,332	3,110
	65歳～74歳	5,799	5,727	5,594	5,511	5,217	4,738
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	1,262	1,290	1,353	1,377	1,399	1,461
	65歳～74歳	3,102	3,297	3,324	3,416	3,473	3,247

(2) 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

平成30年度(2018年度)から平成35年度(2023年度)までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の見込みを示す。

特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)
特定保健指導対象者数(人)	609	638	661	685	690	674
特定保健指導実施率(%) (目標値)	27.0%	34.0%	40.0%	46.0%	53.0%	60.0%
特定保健指導実施者数(人)	164	216	264	315	365	404

支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

			平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)
積極的支援	対象者数(人)	40歳～64歳	160	172	183	190	195	201
	実施者数(人)	40歳～64歳	28	48	64	79	99	121
動機付け支援	対象者数(人)	40歳～64歳	86	91	95	98	101	103
		65歳～74歳	363	375	383	397	394	370
	実施者数(人)	40歳～64歳	26	33	40	47	54	62
		65歳～74歳	110	135	160	189	212	221

3. 実施方法

(1) 特定健康診査の実施方法

① 対象者

特定健康診査の実施年度中に40～75歳となる者(75歳未満の者)で、かつ当該年度の一年間を通じて、国民健康保険に加入している者。また、上記の者のうち、妊婦、その他厚生労働大臣が定める者(刑務所入所中、長期海外在住、長期入院等告示で規定される者等)を除く。

② 実施要領

● 実施時期：6月から10月までとする。ただし、補充健診を行う場合は別途協議する。

● 健診項目：以下のとおり

	項目	備考
健診項目	既往歴の調査	服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査(質問票)を含む
	自覚症状及び他覚症状の有無の検査	理学的検査(身体診察)
	身体計測	身長・体重・BMI・腹囲
	血圧	収縮期血圧(最大血圧)・拡張期血圧(最小血圧)
	肝機能検査	AST(GOT)・ALT(GPT)・ γ -GT(γ -GTP)
	血中脂質検査	中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール
	血糖検査(NGSP値)	ヘモグロビンA1c
	尿検査	尿糖・尿たん白
詳細な健診項目	追加項目	実施できる条件(判断基準)
	貧血検査	貧血の既往歴を有する者又は視診等で貧血が疑われる者
	心電図検査	血圧 140/90mmHg以上 不整脈の疑い
	眼底検査	血圧 140/90mmHg以上 血糖 空腹時・随時 126mg/dl以上 HbA1c(NGSP値) 6.5%以上
	血清クレアチニン検査	血圧 130/85mmHg以上 血糖 空腹時・随時 100mg/dl以上 HbA1c(NGSP値) 5.6%以上
		いずれかに該当し、医師が必要と認めた場合に実施する
追加健診項目		貧血検査、心電図検査、血清クレアチニン検査は詳細健診該当者以外の全員に実施する。

(2) 特定保健指導の実施方法

①対象者の特定

国の示す基準どおり対象者を選定する。

②実施要領

指導対象者を特定した後、三豊、観音寺市内の契約医療機関及び市において指導を実施する。その際、厚生労働省より通達の「標準的な健診・保健指導プログラム」に則った指導を行う。

以下、「標準的な健診・保健指導プログラム」における「動機付け支援」「積極的支援」を実施する際の留意点となる。

目的	特定健康診査の結果から抽出された生活習慣改善による生活習慣病の予防効果が高く期待できる対象者に、生活習慣を見直す支援を行い、生活習慣病の発症を予防することを目的とする。	
対象者	動機付け支援	健診結果・質問票から、生活習慣の改善が必要と判断された者で、生活習慣を変えるにあたって、意思決定の支援が必要な者を対象とする。
	積極的支援	健診結果・質問票から、生活習慣の改善が必要な者で、そのために保健指導実施者による継続的できめ細やかな支援が必要な者
利用券の送付等	特定健康診査の結果をもとに、特定保健指導対象者の選定と階層化を行い、該当者には積極的支援・動機付け支援・動機付け支援相当に分けて利用券・利用案内を随時送付する。	
内容及び実施時期	利用者の利便性に考慮しながら、個別支援及びグループ支援を提供する。また、指導内容については、栄養指導と運動指導を組み合わせたプログラムとする。 実施時期は、初回面接を4月から3月までに実施する。	
詳細内容	動機付け支援	初回面接を行い3か月経過後に実績評価を行う。初回面接は1人20分以上の個別面接または1グループおおむね80分以上のグループ面接とする。
	積極的支援	初回面接後、3か月以上の面接及び電話による継続的支援を行う。初回面接は1人20分以上の個別面接または1グループおおむね80分以上のグループ面接とする。2年間連続して積極的支援に該当したもののうち、一年目に加えて2年目の状況が改善しているものについては動機付け支援相当の支援を行う。
実施形態	法第28条に基づく「特定保健指導の外部委託機関に関する基準(告示)」を満たす特定保健指導機関への委託、及び市の直営方式の併用により、実施率の向上に努める。	

4. 実施スケジュール

	実施項目	当年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特定健康 診査	対象者抽出	←→											
	受診券送付	←→											
	特定健康診査実施			←→									
	受診勧奨			電話	通知	電話							
特定保健 指導	利用権発送	←→											
	特定保健指導実施	←→											
	電話勧奨勧奨	←→											
	前年度の評価								←→				
	次年度の計画								←→				

1. 個人情報の保護

(1) 個人情報保護関係規定の遵守

個人情報の保護に関する法律及び同法に基づくガイドライン等に準じて、厳格な運用管理を行い、役員・職員の義務(データの正確性の確保、漏洩防止措置、従業者の監督、委託先の監督)について周知を図る。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に明示し、委託先の契約遵守状況を管理する。

(2) データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄する。また、他の医療保険に異動する等で被保険者でなくなった場合は、異動年度の翌年度末まで保管し、その後適切に破棄する。

2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とあるため、広報紙、ホームページ等で公表し、広く周知を図る。

3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

(1) 評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率等について、客観的に評価を行う。

(2) 計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行うものとする。

4. 事業運営上の留意事項

(1) 各種検(健)診等との連携

特定健康診査の実施に当たっては、健康増進法等に基づき実施する検(健)診等についても可能な限り連携して実施するものとする。

(2) 健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導の対象となる年代だけでなく、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。